

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年12月26日更新

事務事業名		全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会参画事業					☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	健康福祉部	課長名	大高 和弘	
	施策	18	社会福祉の推進				所属課	福祉課	担当者名	荒牧 聡	
	基本事業	53	地域福祉の推進				所属班	社会福祉班	(内線)	2126	
予算科目		会計一般	款3	項1	目1	事業連番10859	法令根拠				
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)			
							成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	全国のハンセン病療養所が所在する市町で構成された協議会であり、協議会に参画することにより療養所が抱える諸問題を協議し情報交換を行う。平成22年度に合志市で総会開催。昭和48年に全国ハンセン病療養所所在市町村連絡協議会が発足と同時に開始。平成8年4月1日「らい予防法の廃止に関する法律」の施行に伴い、入所者への偏見が無くなる事が期待されたが、平成15年熊本県黒川温泉にて入所者の宿泊を拒否する事件が発生し、その対応に恵楓園入所者に対し心もとない誹謗中傷の手紙や電話が相次いだ。入所者への偏見は根強く残っており、高齢化を迎えた入所者への誠意ある対応と市民への啓発を継続的に実施する必要がある。平成19年度に中山節夫監督作品「新・あつじ壁」を実行委員会主催で12回上映会実施。平成21年4月1日より「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」施行。平成22年7月8～9日で合志市主管で総会を開催した。平成23年度は沖縄県宮古島市、平成24年度は鹿児島県鹿屋市で開催され、平成25年度は岡山県瀬戸内市で総会が開催される予定である。また、平成25年度はハンセン病市民学会が8年ぶりに熊本で開催され、全国からの参加者が市民の立場でハンセン病諸問題の解決への議論を交わした。
【業務の流れ】	①事務局(東村山市)から総会の開催通知を受理②市長、議長、健康福祉部長へ通知を回覧し、旅費を計上する③交通機関及び宿泊先の申込みを行う④総会資料を回覧、保管する⑤協議会への負担金の請求書受理⑥支払手続を行う平成22年度は総会開催-ホテルとの打ち合わせ。恵楓園との打ち合わせ。総会開催に伴う職員の打ち合わせ。が発生した。
【主な予算費目】	職員手当・普通旅費・消耗品費・負担金・補助金
【意見や要望】	・菊池恵楓園入所者自治会より、「H18.6月現在入所者の平均年齢は76.8歳(全国は78.2歳)と高齢化しており、職員数を減らさないで欲しい。入所者は心細いので、最後まで国にみていただきたい。」等の要望があり、協議会において所在市町村の意思の統一を求められている。 ・ハンセン病問題基本法制定要求の請願書が提出され、議員立法により「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」が可決され、平成21年4月1日より施行された。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO) 総会会場までの旅費の計上、支払を行う。協議会負担金を支払う。		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成25年度は岡山県岡山市・瀬戸内市で開催。市長、議長、健康福祉部長が参加予定。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 総会開催回数	回	普通旅費の減	
イ: 負担金納入回数	回		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
①合志市長②合志市議長③健康福祉部長④全国ハンセン病療養所所在市町村連絡協議会		→ ア: 総会参加者数	人
		イ: 担当職員数	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
①本協議会においてハンセン病療養所所在市町村に関する諸問題を協議し、その問題解決を図る。②協議会へ負担金を支払うことにより、同協議会の運営を円滑なものにする。		→ ア: 総会における議題の議決度	%
		イ: 情報を入手できた件数	件
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
例年の実績に応じて設定			全体計画 ～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度実績(決算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	26年度予定	27年度見込	28年度見込
① 活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1	1
	イ	回	1	1	1	1	1	1	1	1
② 対象指標	ア	人	10	3	3	3	3	3	3	3
	イ	人	3	2	3	2	3	3	3	3
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ	件	0	0	0	0	0	0	0	0
投資入費量	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	675	146	139	98	95	200	200
	人件費	(A) 事業費計	千円	675	146	139	98	95	200	200
		(A)のうち指定経費	千円	66	41	53	68	46	53	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	46	21	33	48	26	33	0
		正規職員従事人数	人	3	2	2	0	3	0	0
人件費	延べ業務時間		時間	211	50	20	0	20	0	0
	(B) 人件費計		千円	869	201	80	0	80	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	1,544	347	219	98	175	200	200

合志市

事務事業名	全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会参画事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	-------------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 ①総会への参加は達成されている②要請書に対する解決度を上げる努力をする
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ハンセン病に関する啓発事業は人権教育啓発課との連携ができた。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ハンセン病療養所の所在市としての役割は大きく、削減は出来ない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 開催地までの旅費計算に時間を要するため、業者等に旅費の計算を委託することにより時間の削減は可能と考える。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会を円滑に行ってもらうための参画であり、参画することで合志市民に有効な情報を早くに得ることができるので公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 他課との連携が21年度よりできてきたので、総会時も役割分担し適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年度菊池恵楓園将来構想が完成し、平成23年度には「かえでの森子ども園」の開設ができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								